

駐車場問題でのご意見  
ありがとうございます

こびらい生協診療所 所長

金城 明

お声をいただきありがとうございます。駐車スペースがないことについては、皆様にご迷惑をおかけしております。「お声」には駐車スペース5台と救急車両1台で6台分あるとありますが、救急車両1台分は駐車スペースと考えると、実際には5台分しか診療所前駐車場はありません。

6月からは特定健診が始まり、夙から健診専門外来を予定しております。また、夙からの健診や作業所様の健診など、夙から駐車場を使用することも度々あります。その際に「駐車場がない」ということは難しく診療所前の駐車場を、サークルなどで利用していたですが難しい現状です。

また、夜は17:30〜受付を開始しており、多くの患者様は17時から来院されておられます。

認知症の人と家族の会

介護保険に「困った」過半数

「認知症の人と家族の会」(鈴木森夫代表理事)は、介護保険利用料(原則1割負担)に3割負担が昨年導入されるなど同制度が後退の途をたどっていると、「介護保険の困り事アンケート」を実施しました。介護中の家族のうち「困っていることがある」との回答が半数を超えました。寄せられた介護の実態や切実な生の声を「報告書」にまとめました。

全国アンケート

アンケートは昨年9〜10月に実施。46都道府県から289通の回答が寄せられました。回答者は、介護中の家族190件、介護経験者83件、専門職など35件(重複回答)。全体の7割が介護中または介護経験者です。

介護サービスを利用していただけたのは、要支援1から要介護5の認定を受けた244件中238件(98%)。介護中の家族のうち同サービスで「困っている」と、不満に思うこと

がある」は100件でした。その内訳は「個別性に合ったケアが提供されない」

介護保険サービスの利用料負担増、給付見直しなどによる経済的影響を訴える声から

- 【介護中の家族】
- ▽2割負担となり支払いがとても苦しいので、訪問介護を増やしたくても我慢している
  - ▽2割負担で本人の年金をすべて施設利用料にあてなければならず、先行きが不安
  - ▽3割負担になりデイサービスの回数を減らすことにした
  - ▽介護保険の枠外の支払いが大きく、ショートステイが特に高いのでもう使っていない
- 【介護経験者】
- ▽1人暮らしが難しく、デイサービスやショートステイを利用したいが不可能
  - ▽生活費を切り詰め、貯金をくずしてやりくりしている
  - ▽本人の年金だけでは支払えず、家族が負担し家計を圧迫している

「制度上組み合わせられないサービスがある」「利用料が高い」「要介護度が軽く認定される」など。

この間、利用料負担が2割、3割と重くなったり、

部屋代・食事代の補助の見直しなどで経済的な影響が

「ある」と回答したのは、介護中の家族の約4割にあたる62件。負担増で「サービス利用を控えている」

「2割負担になり、毎月赤字」に限られた収入で負担感が大きい」などの悲鳴が上がっています。

経済的影響が「ない」の回答でも、今は1割だが、「上がったら大変だ」「夫が私にみるというかねない。介護者の負担が多い」

「今後は進行するのでだんだんと影響してくる」などと訴えています。

専門職などの回答23件のうち、介護保険サービス

で困っていることが「ある」は7割。「負担割合が重くなり、利用が制限される」「国策による軽度者のサービス利用抑制が行われている」「制度が煩雑で分かりにくい、使いにくい」など、批判的な声が並びます。

誰でもなりうる

アンケートには、「世をあげての『認知症予防キャンペーン』がほしい。だれでもなり得る当たりまえの病気として理解してほしい」などの声も寄せられています。

同会は「認知症の人や家族にとって、介護と暮らしは日ごとに厳しくなり、この先の不安は増すばかりだ」と指摘。「生の声を多く紹介している報告書を、暮らしやすい社会の実現のために活用してほしい」としています。

調査結果は、「認知症の人も家族も安心して暮らせるための要望書(2019年版)」に反映させ、関係省庁に提出しました。

夙からの健診などが無ければ2台ほどは利用できますが、17時ま

でに空けていただく必要が有ります。また、駐車された際は声をか

けていただき、車の移動などに対応していただきます。